

# おかえり

目にしみるような 山のみどりよ  
萬葉の森に 吹く風は優しい  
透きとおるような 空の青さよ  
どこへ旅する ちぎれた雲よ  
匹見の空よ 父なる空よ  
何も変わらず 何も語らず

幾重かさなる 墨絵の山よ  
満天の夜に 星は流れる  
夢かなくても 夢やぶれても  
萬葉の郷は いつも優しい

匹見の空よ 父なる空よ  
何も変わらず 何も語らず  
匹見の空よ 父なる空よ  
赤々ともゆる いにしえの郷

深く 深く 息を潜めて  
何を夢見た いにしえの人  
匹見の空よ 父なる空よ  
何も変わらず 何も語らず  
匹見の空よ 父なる空よ  
赤々ともゆる いにしえの郷



# わさびに懸ける男たち

かつて、東の静岡、西の島根と、品質の高さを評された、匹見わさび。

近年は担い手不足などから生産量が減少していたが、匹見わさび再興に向けた取り組みが続けられる中、「わさび生産に懸けたい！」と、第二、第三の人生に匹見の地を選んだ二人の男性がいる。



(左から) 中井作さん、齋藤敏夫さん、齋藤敏夫さん

## 匹見に吹く新しい風

### 思いを胸に抱いて

その二人の男性とは、中(なか)耕作さん(五〇、奈良出身)と安藤達夫さん(四四、長野出身)。中さんは大学卒業後、約十年間の会社勤めを経て、両親が創業したゴルフ練習場を手伝うため、カナダへ移住した国際派だ。人と違うことをやりたい。二年前に一念発起し、就農フェア(開催・大阪)に出かけた際、わさび就農の資料が目にとまった。「考えるより先に体が動く。結果は後からついてくる」。中さんは、迷うことなく匹見へ向かった。一方の安藤さんは、公務員を辞め、匹見に移り住んだ異色の存在だ。「仕事は面白かったが、人生の折り返し点に立ち、これからどう生きようか考えた」。そんなとき、後継者育成のため匹見総合支所経済課が主催した「平成十九年度わさびカレッジ」の存在をインターネットで知



中さんと安藤さんのお住まいは、島根県の旧益田土木建築事務所職員宿舎(写真)です。規制緩和により、現在は田舎暮らし体験用住宅(単身用二戸、家族用二戸)として活用され、最長一年間、入居できます。

**田舎暮らし  
体験用住宅、あります。**

詳細は、匹見総合支所地域振興課(電話0856・56・0301)へ。

### 夢に向かって

益田市では、二人のような研修者に対し補助金(注)を交付し、就農と定住を支援している。二人の産業体験期間は、来春まで。「新規就農に向け、年収五百万円を目標に指導したい」と話す齋藤さんも、わさびを観光振興につなげたいと思いは熱い。それぞれ夢をわさびに託し、匹見の空の下、今日も黙々と作業は続く。

### 仕事に、趣味に

二人は今年四月から(財)ふるさと島根定住在団の産業体験事業を活用し、匹見町わさび生産者組合、組合長の齋藤敏夫さん(五四)の下で、栽培技術を学んでいる。加工用わさびの増産に向け広高山(三葛)に造成されたわさび畑など、齋藤さんの栽培面積は二百二十アにも及ぶ。休日、二人は匹見川で鮎釣りをする。夕刻、釣った鮎を肴に、齋藤さんや知人たちと宴会が始まる。仕事に趣味に、充実した匹見生活を過ごしている。

※注：匹見町外から移住し、農林業の研修を受け、新たに就業しようとする人に、毎月上限十万円、最大一年間の「益田市匹見地域農林業担い手確保育成事業補助金」を交付している。

◎わさび就農に関する問い合わせ先：匹見総合支所経済課(0856・56・0305)へ。



## 待望の長沢1号トンネル貫通 開通は平成21年度予定

益田市匹見町と同市横田町を結ぶ国道488号は、カーブが連続し道幅も狭く、かねてから改良整備が急がれていました。現在、同市長沢町から匹見町豊川に至る区間でトンネル二本と二つの橋を新設するバイパス工事が進行中で、このうち一号トンネル（全長千三十八メートル）が七月十日、現地で開通式が行われ、関係者が貫通を祝いました。

途中、掘削土から環境基準を超えるヒ素が検出されたため、今年二月から工事が中断されていました。六月に再開しました。匹見町最後の町長で、平成の

合併に立ち会った益田市顧問の齋藤惟人さん（六九）は、「町民にとって待望のトンネル貫通を、今か今かと待ちわびていました。あくシデントもありましたが、関係者の賢明のご努力により、今日の日を迎えることができました。一日も早い供用開始を願っています」と、喜びの声を振るわせていました。当初、開通は来夏の予定でしたが、工事中断により、来秋以

路にすれこむ見通しで、完成すれば約七分の時間短縮が見込めます。



## 「匹見の空」完成 8月28日、町内でライブ予定

匹見町の自然をイメージした歌「匹見の空」（本誌表紙に掲載）が完成し、お披露目ライブが七月二日、同町の「萬葉の郷」（尼子医院跡）で開催されました。「萬葉の郷」代表者である阿知波栄子さん（五六）から、匹見の歌を作ったほしいと依頼を受けた、シンガーソングライター毛利治郎さん（五三）、岩国市在住）が作詞・作曲。歌の前後には同町在住の太鼓奏者、今福優さん（五二）の太鼓が、途中にはハーモニカの音色も入り、毛利さんは雄大な匹見の自然をしっかりと歌い上げました。

「人間らしい暮らしとはどんな暮らしなのか、その答えが匹見にあるような気がする」と毛利さん。

七月にはCDが発売され、八月二十八日には町内の福祉施設「もみじの里」とタウンホールでミニライブが計画されています。詳しくは萬葉の郷（電話0856・56・1347）へ。



## マップ片手に 「ひきみの清水」巡りをしよう

国土交通省が行っている国内の一般河川の平成十八年度水質



今春完成した「ひきみの清水マップ」

調査で、高津川が清流日本一に選ばれましたが、その支流域に位置する匹見町には、昔から人々の暮らしを支えた清水が点在しています。

益田市匹見総合支所は、このうち八カ所を「ひきみの清水」に選定し、今春にはその清水を紹介したマップが完成し、町内の主要施設に配布されています。問い合わせは、匹見上地区振興センター（電話0856・56・1144）へ。

## 田舎と都市を結ぶ交流事業スタート

高齢化率五二%を超える匹見町では、草刈りや清掃、地域イベントなどの共同作業が困難になってきています。そこで、町外からボランティア希望者を呼び込み、こうした解決困難な作業を支援してもらうことで、地域活性化や住民の生きがい、ひいては定住につなげていくために、今年三月、「ボランティア基金」が設立されました。七月五、六の両日には県内外の大学生十六人が来町し、町内



三カ所で草刈りに汗を流すこと

もにII写真II、地元住民とグラウンドゴルフをしたり昼食をこ馳走になったりと、親睦を深めました。

運営主体の「ひきみ田舎体験推進協議会」では、今後、ボランティアと田舎体験をセットにしたメニューを作る計画で、町外ボランティア会員を広く募集しています。問い合わせなどは同会事務局（電話0856・56・0301）へ。

# ひきみ瓦版

ふるさとを今





暑さいよいよ厳しく、山の恋しい季節となりました。

私は、四月の人事異動により、匹見総合支所長を拝命しました齋藤でございます。

## 匹見町で新たな生活をお考えの方へ

益田市匹見総合支所長 齋藤幸士

ています。  
このような状況を踏まえながら、豊富な広葉樹林や溪谷の美しい自然環境を財産とし、地域の元気・再生をどのように構築していくのか大きな課題を抱えています。徐々にこれまで取り組んできた「中山間地域リーディング事業」における実践への動きが芽生えつつあります。

とした新しい交流事業を展開する中で、体験しながら「匹見ならではの魅力」を知ってもらい、一人でも多くのUターン者を受け入れ、「安心して暮らせる・住んで良かったと思える」まちづくりを目指しています。町に活気が生まれることを目標に、自然財産を大切に守り、匹見らしく町民が一体となった

匹見町では少子高齢化が進んだことにより、地域運営の担い手不足はますます深刻になり、資源の管理や地域社会の存続までも危ぶまれる状況になってきています。

今年度からは、まちづくりコーポレートディネーター制度を導入しての安心・安全なまちづくりや、産業振興と定住対策、さらにはひきみ田舎体験推進協議会を核

豊かさの共感できるまちづくりを実現したいと思っています。匹見を体験し、暮らしてみませんか？お待ちしております。

# はじめの一步を応援！ 定住アドバイザー

※定住アドバイザーとは、匹見町にUターンされた方が、自らの定住体験や地域の習慣、心構えなどについて助言を行う制度です。アドバイザー相談をご希望の方は、まずは匹見総合支所地域振興課（電話0856・56・0301）までご連絡ください。※相談受付は平成二十二年三月三十一日まで。

髙田純子（たかた・じゅんこ）さん



山室弥生（やまむろ・やよい）さん



高田純子（たかた・じゅんこ）さん



- 広島県広島市からUターン
- 島根県松江市出身
- 定住開始 平成5年2月
- 現住所 匹見町匹見イ6674
- 家族 6人（両親、息子、娘2人）

- 大阪府豊中市からUターン
- 大阪府出身
- 定住開始 平成15年5月
- 現住所 匹見町登川
- 家族 2人（夫）

- 広島県広島市からUターン
- 広島県出身
- 定住開始 平成7年7月
- 現住所 匹見町道川口307
- 家族 4人（夫、娘2人）

### 【公営住宅情報】

名称	所在地	構造	戸数(1フロア)	建築年等	家賃
H20.7.現在					
山根下園地1	匹見イ663-2	木造2階建	4(1)	H8建築	(単)15,000 (世)25,000
山根下園地2	匹見イ716	木造2階1戸建	1	H11購入	15,000
半田園地	匹見イ326-1	簡易耐火1戸建	3	H4購入	5,000
道川園地	道川イ39	簡易耐火平屋建	2(1)	H18改築	15,000
荒木園地	紙祖イ38-3	木造平屋1戸建	1	S58建築	15,000
澄川園地	澄川イ327	木造平屋1戸建	2(1)	H5.10建築	15,000
■特定公共賃貸住宅					
隣訪住宅	匹見イ1237	木造平屋建	3(1)	H8.9建築	45,000
澄川住宅	澄川イ337-1	木造平屋建	1(1)	H15建築	45,000
■市営住宅					
隣訪住宅	匹見イ1237外	簡易耐火平屋建	10(2)	S45建築	収入による
隣訪住宅	匹見イ1237外	木造平屋建	15(2)	S35.4/H8建築	収入による
江田住宅	匹見イ189-2外	簡易耐火平屋建	3(1)	S49建築	収入による
江田住宅	匹見イ191	木造平屋建	4	S58.57建築	収入による
荒木住宅	紙祖イ64	簡易耐火平屋建	7(3)	S49建築	収入による
澄川住宅	澄川イ290外	簡易耐火平屋建	5(3)	S46建築	収入による
澄川住宅	澄川イ337-1	木造平屋建	2	H15建築	収入による
道川住宅	道川イ29-1	木造平屋建	2(1)	H14建築	収入による
■若者定住向け公社賃貸住宅					
コーポのカモト	紙祖イ672-1	鉄骨造2階1戸建	4	H7建築	25,000
コーポのいれ	匹見イ1226-1	木造2階1戸建	4(1)	H13建築	25,000

## 空き家を探しています

空き家の有効活用とUターン希望者の定住促進を図るため、匹見総合支所は「空き家バンク制度」を創設しました。  
この制度は、空き家を賃貸あるいは売却してもよいと考える所有者と、Uターン希望者にそれぞれ登録してもらい、同支所が相談窓口となり、空き家の情報収集・提供を行うものです。  
平成二十年七月現在、空き家バンク登録件数は六棟（うち四棟成立）で、匹見での田舎暮らしを強く希望する方々（空き家利用希望登録者数十三人）の要望に応えられない状況です。  
皆様の中で空き家を「貸し住宅にしてもいい」「売却してもいい」とお考えの方がいらっしゃいましたら、同支所地域振興課（電話0856・56・0301）までご連絡ください。

### ◎定住・Uターンに関する問い合わせ先

益田市匹見総合支所 〒698-1211 益田市匹見町匹見イ1260 電話（代表）0856-56-0300 FAX0856-56-0362  
HP <http://www.town.hikimi.shimane.jp/>  
◆わさび就農…経済課 ◆空き家バンク制度…地域振興課 ◆公営住宅…建設課